

日本語支援ボランティア入門講座

日本語を母語としない方の日本語学習を支援するボランティアの入門講座を行います。

知識、経験、外国語の力などは一切問いません。日本語に関する文法や教え方などは丁寧に指導します。

日時 3月16日(土)午後1時～3時

会場 福祉センター中会議室

対象 日本語を母語としない方の日本語学習の支援に関心のある方で、継続してボランティアを行える方

定員 10人（先着順）

費用 無料

講師 野島佳代さん（羽村日本語学習会）

東京空襲資料展

市では、3月10日の「東京都平和の日」に合わせ、平和意識の高揚を図るため、「東京空襲資料展」を行います。

日時 3月5日(火)～10日(日)午前8時

30分～午後5時15分

会場 市役所1階ロビー

入場料 無料

※直接会場へお越しください。

問合せ 企画政策課企画政策担当(☎ 315)

持ち物 筆記用具

主催 羽村日本語学習会

後援 羽村市

申込み 事前に、電話で羽村日本語学習会(野島)へ ☎ 090-111171

8093

問合せ 地域振興課市民活動センター

係(☎ 632)

羽村日本語学習会は、羽村近隣に住む日本語を母語としない外国籍の方の日本語学習を支援している団体です。学習希望者の増加、学習内容の多様化に伴い、一緒に活動していただけるスタッフを募集しています。

黙とうにご協力を

昭和20年3月10日は、東京大空襲により、一夜にして10万人ともいわれる尊い命が失われた日です。

この日を忘れることなく、東京空襲により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、世界の恒久平和を願い、3月10日(日)の午後1時から1分間の黙とうを行います。

午後1時の時報に合わせ、黙とうのご協力をお願いします。

リサちゃんといくるちゃんのこれ知ってる？

＜新しい資源収集カレンダーはいつ配られるの？の巻＞



童話の動物公園第5弾「ブレーメンの音楽隊」完成！

ロバの背に乗るイヌ、ネコ、ニワトリの有名なシーンを造形豊かに制作しました。物語を連想させる飾りが盛りだくさんです。

「ウサギとカメ」、「三匹の子ブタ」、「オオカミと七匹の子ヤギ」、「さるかに合戦」に続いて5番目となる童話施設です。

ぜひ、お越しください。



4月7日(日)は入園料無料♪

3月29日(金)から始まる「はむら花と水のまつり」に協賛して、4月7日(日)は入園料を無料とします。

問合せ 動物公園 ☎ 579-4041

広域連携体制強化

災害時相互応援協定を締結

市では、市民生活の安全と安心を確保し、災害に強い生活環境づくりに取り組むため、新たな災害時相互応援協定を締結しました。

協定の概要

- ◆物資および資機材の提供
- ◆被災者の一時受入れ
- ◆受入れに必要な施設の提供
- ◆職員の派遣
- ◆ボランティアのあっせん

1月23日(水)に、関東・中部・近畿地方の6自治体と災害時相互応援協定を締結しました。

この6自治体（神奈川県真鶴町・愛知県清須市・京都府大山崎町・大阪府忠岡町・大阪府田尻町・兵庫県播磨町）は、かつて組織されていた「全国ミニ団体連絡会議」の構成自治体です。それぞれの自治体から市長・町長らが羽村市役所を訪れ、調印式を行いました。大規模災害時には首都圏域を越えた広範囲での連携体制の強化が必要になってきていることから、羽村市が中心となり協定締結に向けた事前協議を重ね、今回の協定締結に至りました。

1月30日(水)に、茨城県古河市と災害時相互応援協定を締結しました。

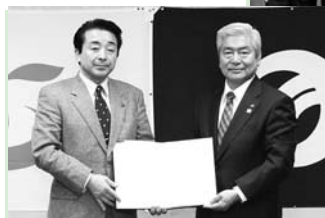
茨城県古河市との協定は、羽村市内に工場を有する日野自動車株式会社が、今年度、古河市で新たな工場の操業を開始したことを契機に、事前協議を重ね、今回の協定締結に至りました。

古河市が有する自ら被災地として対応してきた経験や、被災地でありながら沿岸部の自治体を積極的に支援してきた経験・教訓を、市の地域防災力の向上に生かしていきます。

問合せ 企画政策課企画政策担当 ③314



▲1月23日(水)、羽村市役所で行った調印式



▲1月30日(水)、古河市役所で行った締結式

済んでいますか？

子宮頸がん等3ワクチン接種

市では、3月31日(日)までに、市の指定医療機関で子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを接種した方に対して、費用の一部を公費負担しています。未接種の方で希望する方は、早めに接種してください。

◇子宮頸がん予防ワクチン

助成対象 市内在住で、平成24年度に中学校1年生相当（13歳）から高校1年生相当（16歳）の年齢になる女性（平成8年4月2日～平成12年4月1日生まれ）

※高校2年生相当（17歳）になる女性で、平成23年度中にこの事業における接種を1回または2回接種した方も対象です。

自己負担額（1回当たり） 1590円

接種回数 3回

接種方法 市の指定医療機関へ予約し、「保険証・2回目以降の方は接種済証」を持参し、原則保護者同伴で接種してください。

◇ヒブワクチン ◇小児用肺炎球菌ワクチン

助成対象 市内在住で、生後2か月から5歳未満の方

自己負担額（1回当たり）

□ヒブワクチン：880円

□小児用肺炎球菌ワクチン：1120円
接種回数 月齢（年齢）により異なります。詳しくは、接種医療機関で確認するか、保健センターへ問い合わせてください。

接種方法 市の指定医療機関へ予約し、「母子健康手帳・乳幼児医療証」を持参してください。

平成25年度の国の動向

3ワクチン接種助成事業は、平成24年度までの事業です。

現在、国では、平成25年度から子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンを定期予防接種として位置づける方向で検討しています。平成25年度の国の方針については、決定次第お知らせします。

問合せ 保健センター ☎5555-1111
11③623